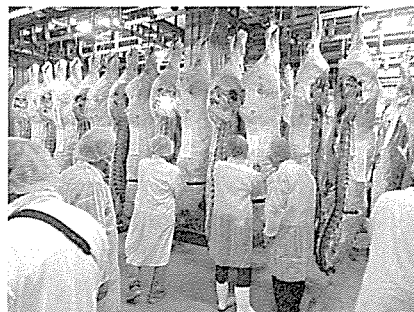


あか毛和牛枝肉販促会、特別推奨牛は単価3千円で(株)つばめが購買



の右側)が「今後も増頭に向けて励んでいき、あか毛和牛認定農場枝肉販売促進会が続いていくような形を望みたい。販売促進づくりについても、熊本県や関係者の方からバックアップを受けている」と話し、今後の普及拡大を強調した。なお、特別推奨牛以外の入賞牛は次のとおり。

【推奨牛】廣田基公(星ナシ、去勢、A2、枝肉重量534.5kg、BMS No.3、キロ単価2700円、購買者〓伊藤ハム)▽林田直行(星一つ、去勢、A3、529.5kg、BMS No.4、2800円)

一般(株)全日本あか毛和牛協会(穴見盛雄理事長)は6日、令和元年度あか毛和牛認定農場枝肉販売促進会を埼玉県和光市の(株)アグリス・ワン和光ミートセンターで開催。掲毛和種21頭が出品され、特別推奨牛には津留孝二さん(写真右の左側は津留氏のご子息)の出品牛(星一つ、去勢、A3、枝肉重量539kg、BMS No.4)が輝き、ちぎり方式で行われた販売会で(株)つばめがキロ単価3千円で購買した。同協会では協会登録農家から出荷される牛を粗飼料の給与割合や飼育方法などで4クラス(星の数ナシ〜星3(星の数が多いほど厳しい基準の飼育方法))に分ける独自の評価基準を制定。肉質については赤身の割合が70%以上、BMS No.2〜4が求められる。審査講評では「出品体重を厳正にしたことで枝肉重量が昨年に比べて15kgほど軽くなっていたが、平均が502kgと十分な大きかった上、ロースしん面積や皮下脂肪は昨年並みとバランスの良い枝肉が多かった」と話され、特別推奨牛については「バラの厚さやロース芯の大きさ、肉の色など非常に優れたものをもっていた」と評された。また、販売会前日に行われた生産者表彰式では、穴見理事長(写真右